

ワタスゲの毛には、種がついており、タンポポの綿毛のように風にのせて種を遠くに飛ばします。

もふもふしているときは、種を飛ばす準備期間です。



田代平湿原に向かう途中の道には、竜神沼や川などがあり、苔などを楽しむことができます。また、ワタスゲが見ごろを迎える頃に、レンゲツツジやヒメシャクナゲなどを道中でも八甲田の自然を楽しむことができます。



たんさく「もふもふがいっぱい」田代平湿原のワタスゲ

田代平湿原

田代平湿原は、青森県八甲田山の火山活動によってできたカルデラ湖に、長い年月をかけて泥が積み重なってできた湿原です。湿原内は、木道が整備されており、3つあるルートの全長は1・6kmで、1時間くらいで1周することができます。田代平湿原では、例年6月中旬頃にワタスゲの見ごろをむかえます。

ワタスゲ

ワタスゲは、もふもふした見た目から、大行列の先頭に立つ人が持つ毛槍に似ており、スズメノケヤリ(雀の毛槍)とも呼ばれています。白い毛は、種子とつながっており、風に乗って飛んでいきます。じつは、このような「もふもふ」の見た目になるのは、細くて小さい花をたくさんつけた後です。花をつけているときは、あまり目立ちません。似た植物に、サギスゲという植物があり、株がまとまっていないことや箒のような形状(鳥のサギのように見える)になっているので見分けやすいです。ワタスゲには、あたり年とはずれ年があるといわれています。そのことから、毎年、景色に違いがでるため、その年見た景色とは、一期一会になるかもしれません。

自然は危険がいっぱいです。運動靴や長袖の着用といった装備を整え、天候の変化に注意して散策してください。

2022年度コープフードバンクの取り組みについて

コープあおもりでは、コープフードバンク事業の一環として2019年度から、青森県社会福祉協議会と連携し、浪岡物流センターで商品セット時に発生した、品質には何ら問題がないにも関わらず、物流セットセンターで取り扱いしている青果物で、検品ではじかれた商品等、組合員さんへのお届けが不可の商品を周辺の社会福祉法人へ提供する取り組みを行っています。2022年度は15の社会福祉法人(21年度と同数)に延べ50件、5,188kgの物品を提供しました。

また、食品の無駄をなくすとともに誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めることを目的とする「コープ東北フードバンク」の取り組みには、個人サポーター 96名の会員登録があり、賛助金は168,000円(21年度は111名、269,000円)でした。コープ東北フードバンクからは、提供回数58回(21年度51回)、提供重量5,188.4kg(21年度3,336kg)があり、青森県社協から各市町村の社協を通して262件(21年度187件)食料品、雑貨品が配られました。



＜フードバンクからの寄付は、「子ども宅食おすそわけ便」にも活用されています。

写真は、八戸市で2023年2月26日に実施された「おすそわけ便」の様子。



「子ども宅食おすそわけ便」

定期的に食品等を届けることで、社会的に孤立しがちな子育て家庭とつながりを作ることで、必要な支援に結び付け、小さな変化にも気づきやすい関係性を築くことを目的とした取り組みです。

生協ふれあいの森植樹祭(仙人平)に参加しました。



5月21日(日)青森市眺望山、6月18日(日)十和田市仙人平で、青森県生協連主催の「生協ふれあいの森植樹祭」が開催され、コープあおもりの組合員と職員が参加し、県内他生協の方と一緒に、各地域の森林管理署職員に指導してもらい植樹を行いました。眺望山では、ヒバの植樹と森林探索をしながら動植物をさがすレクリエーション、自然木を使った工作を行いました。

仙人平では、ミズナラの植樹と昨年植樹を行った周辺にはえた笹を切る作業を行いました。植樹後は、森林内にある植物を探るレクリエーションと八幡馬を探す宝探しを楽しみました。

